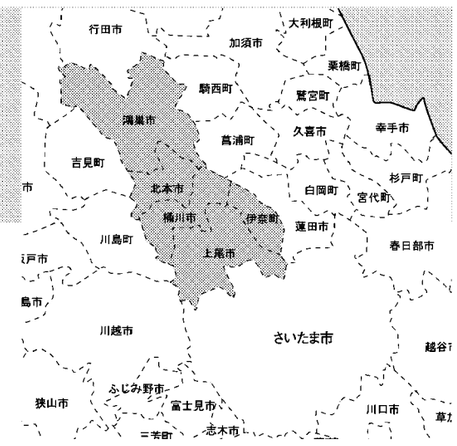
埼玉県 中部地域

上尾市 北本市 桶川市 鴻巣市 伊奈町



行政・経済団体に聞く

上尾市長
島村　穣 氏

圏央道完成を見据え 立地環境を整備

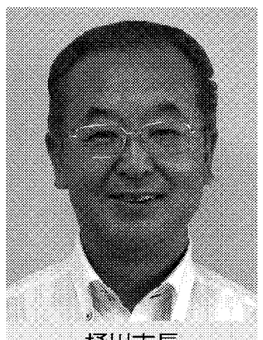
上尾市は都心から35キロメートル圏にあり、東北自動車道、関越自動車道、圏央道に三方を囲まれているなど交通の利便性に優れている。

江戸時代には中山道の宿場町として栄え、その後1950年代から60年代にかけては、大手企業を含む多くの工場が進出した。結果、金属加工や輸送機械関連を中心とした現在の産業基盤が形成されている。今後は、圏央道への接続を見据えた上尾道路沿道利用について、工場適地の調査・研究を進め、立地環境整備を推進していく。

ことし7月には、東日本大震災の被害に関する市内企業向け資金繰り支援として、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）への利子補給を始めた。

また、中心市街地活性化にも力を入れている。1月には上尾駅の改修工事が完了した。東口駅前では28階建て複合ビルの建設など「上尾中山道東側地区市街地再開発事業」が進行している。

今後も、市内中小企業の経営安定化と地域経済の活性化に向け、施策を展開していきたい。

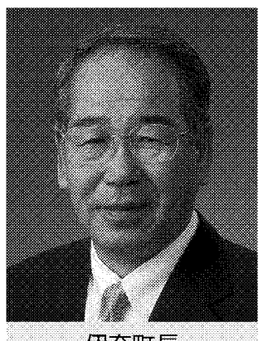

桶川市長
岩﨑 正男 氏

交通面での利便性により 大手企業が進出

桶川市は、国道17号、旧中山道、JR高崎線など東京につながる南北の輸送を軸に発展してきた。圏央道が完成すれば、これに東西性向上を見越して、大手出版社の物流拠点などが進出してきている。この交通面での強みにより、市の産業は今後の発展に向け大きなポテンシャルを秘めていると言える。

市では、桶川インターチェンジ完成予定地の周辺を対象とした企業誘致に力を入れている。7月10日に、関係権利者との連絡調整や進出企業の選定を目的とする「加納原地区開発地権者協議会」も発足した。限られた土地を有効活用し、雇用促進などにつなげたい。

今年度中に、都市計画決定まで漕ぎつけたいと思う。


伊奈町長
野川 和好 氏

企業誘致に向け 新産業ゾーンの指定を検討

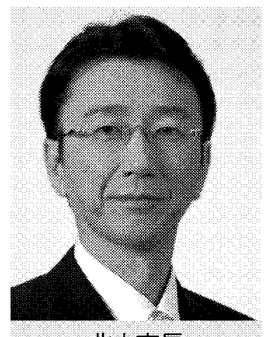
伊奈町の工業は、町の北部に所在する伊奈北部工業団地と、中部の工業専用地域が中心。特許技術により安定した収益を出している企業や、大手外食チェーン店向けに食材を供給する工場などが立地している。

また、将来的には西部の一定地域を新たな産業ゾーンとして指定する構想もある。面積としては限られているため、研究開発型の企業を積極的に誘致したい。

埼玉県中部地域は、圏央道や第2産業道路が完成すれば、利便性が高まり経済のさらなる発展が期待できる。町としては、こうした新しい道路と伊奈をつなぐことを最重要だと捉え、道路整備に一層力を入れるつもりだ。地権者との会合などを通じ、良き調整役となれるよう努力している。周辺各市の良い所なども採り入れながら、町の発展につなげたいと思う。

私自身も企業経営の経験があり、地元企業の経営者に対しては、強い仲間意識を持っている。リーマンショック以後厳しい状況が続いているが、国や県へ産業側の要望を伝えることなどで、各社の経営のしやすい環境を整える。子どもの安全を守るため市内小・中学校の耐震工事、大規模改修工事も進めている。

11月には埼玉B級ご当地グルメ王決定戦が開催される。特産品のトマトを使った料理を募集、選抜した。ぜひ来場者の皆さまにお披露目したい。北本市をより多くの方に知ってもらい「来て良かった」と思える都市にするべく、全力を尽くす。

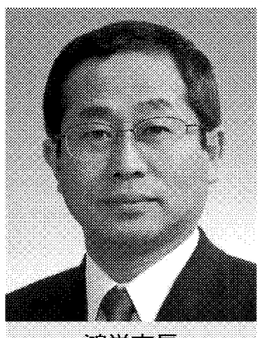

北本市長
石津　賢治 氏

観光100万人都市に向けて仕掛けづくり推進

観光100万人都市を目指す。日本五大桜の一つとして知られる石戸蒲ザクラなど従来の観光名所に加え、石戸城跡の試掘調査など集客の仕掛け作りをする。「三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろば」が2012年4月中に開園予定。企業誘致した江崎グリコが12年に操業を開始する。北本市を全国に発信するチャンスとして生かしたい。

暮らしやすい街づくりにも力を注ぐ。JR北本駅西口駅前広場の整備事業を開始した。また、中核保育所（仮称）を建設中で、12年4月オープンを目指す。一時保育、完全給食、病後児保育の実施、子育て支援センターの併設など保育の総合施設になる予定。子育てしやすい環境を整える。子どもの安全を守るため市内小・中学校の耐震工事、大規模改修工事も進めている。

11月には埼玉B級ご当地グルメ王決定戦が開催される。特産品のトマトを使った料理を募集、選抜した。ぜひ来場者の皆さまにお披露目したい。北本市をより多くの方に知ってもらい「来て良かった」と思える都市にするべく、全力を尽くす。


鴻巣市長
原口 和久 氏

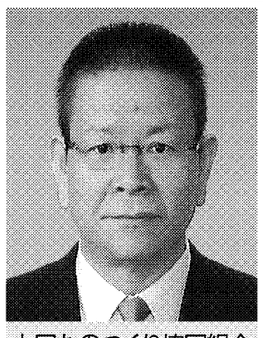
「鴻巣市産業観光館」で 商工業と観光を振興

鴻巣市は、江戸時代屈指の花の産地であることから「花のまち」として全国的にPRしている。

市では、2005年10月の吹上町、川里町との合併以降、市民生活や企業活動の活性化を図るため、市内JR3駅の駅前整備に重点的に取り組んできた。現在は、中心市街地の活性化と商工業および観光の振興を推進するため、伝統文化や特産品など地域資源の情報を発信する総合的な交流拠点として「鴻巣市産業観光館」を整備している。

地域経済の動向は、東日本大震災の影響もあり、依然として厳しい。今後も、商工会が実施する工業者への経営支援や各種事業等の補助金交付事業に力を入れる。また、工業者の経営安定化を図るため中小企業融資事業なども、積極的に推進していく。

圏央道の開通という地の利を生かした積極的な企業誘致に取り組みながら、地域活性化の要である地域産業の振興を図っていきたい。

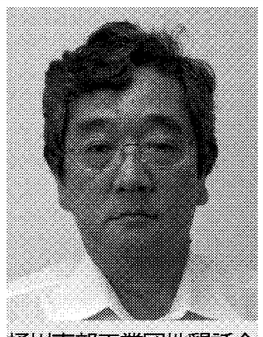

上尾ものつくり協同組合
黒澤　久 理事長
（スリーケ会長）

委員会制度を改革 組合の活性化へ

上尾ものつくり協同組合は、1957年に発足した上尾金属工業協同組合が前身。02年に現組織名へ改称し、現在は異業種交流団体として、賛助会員を含め約120社が加盟している。

10年度からは埼玉県の助成金を活用し、人材確保推進事業に取り組んでいる。

異業種団体なので、今後はいかに共通の目的意識を設定するかが課題。このため、来年度には業種ごとの部会を立ち上げたい。加えて、上尾商工会議所と共同の新拠点「産業振興センター（仮）」の建設も、5年後の大きな目標だ。


桶川東部工業団地懇話会
森　裕久 会長
（日立産機システム埼玉事務所所長）

積極的な活動で 企業間の仲間意識を醸成

桶川東部工業団地懇話会は、交通安全講習会などを通じて各社の親睦を深める他、清掃活動による地域社会への貢献にも力を入れてきた。年1回の総会には桶川市長らが出席しており、企業と行政の話し合いを円滑化するのにも寄与している。

近年、会員企業が手掛ける設備が各工場に導入されるなど、団地内での取引が活発化しているのが特徴だ。加えて、衣料品や食品を製造・販売する企業も出してくれれば、前向きに交流を図り、当会の活性化につなげたいと思っている。

懇話会の活動により互いの事業内容が見え易くなった成果だと思う。

桶川東部工業団地は、14年度以降に開業予定の圏央道桶川インターチェンジから車で約5分の場所にある。産業集積地として、周辺エリアは将来的にさらなる発展が望めるだろう。新しい企業が進出し、他の会員の従業員が積極的にその製品を買うなど良い仲間意識が芽生えつつある。

ボラスの住まいづくりでは、耐震性や快適性などを配慮した様々な実験を日々行っています。耐震性を高めるために、骨組みや金具を自社開発するなど、ボラスは見えないところにも力を注ぎます。

住むほどに、良さがわかってくる。そんな、一生愛せる住まいを、ボラスはつくり続けます。

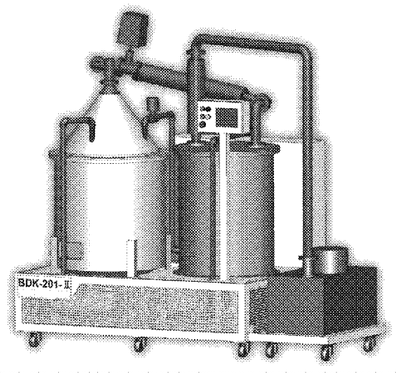
住まい価値創造企業
POLUS
ボラスグループ

www.polus.co.jp　ボラス　検索
ボラス（株）越谷市南越谷 1-21-2　TEL.048-989-9119
ボラスの携帯版分譲検索サイト

BDF 高純度バイオディーゼル燃料 製造装置

減圧蒸留方式による無洗浄方式で、
排水を出さずに高純度の
バイオディーゼル燃料を精製できます。

CO2 ゼロカウント
廃食用油 リサイクル



Q「BDF」って何?
A 廃食用油の植物原料より製造されるバイオディーゼル燃料のことです。英語のBio Diesel Fuel の頭文字をとってBDFと略称しています。このBDFを軽油の代替燃料として使用する事は、地球温暖化の主要因である二酸化炭素の増減にカウントされません。これを「カーボンニュートラル」と呼びます。

フロン処理事業で地球環境保全を考えてまいりました当社は
「BDF製造・B5混合燃料製造システム」を通じて
さらなる地球温暖化防止に貢献したいと考えております。

フロンのことも、BDFのことも。
地球のために―― 環境総研です。

株式会社 環境総研
〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷1649-1 tel.048-789-2302 fax.048-789-2303
e-mail info@kankyosoken.co.jp　http://www.kankyosoken.co.jp